

# 日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 武市 和彦 発行所 日本高齢期運動連絡会  
〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5 シャンポール中野504号  
Tel/fax 03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com  
http://www.nihonkouren.jp

発行：隔月1回  
2020年2月1日  
No.342



田村議員に署名を手渡す、金子代表委員と全国保険医団体連合会 住江会長

## 老人医療有料化から37年 2.1高齢者中央集会 170名参加 「2.1高齢者中央集会&国会議員要請行動」報告 75歳以上の医療費窓口負担2割化反対署名第一次集約15,158筆提出

### 〈開会挨拶〉

学習し高齢者の叫びをしっかりとつたえよう！

金子代表委員(全日本年金者組合委員長)

2/1中央集会は老人医療費無料制度が廃止された1983年から毎年開催しています。老人福祉法  
の精神が放棄された2月1日を記録に刻んでその  
時々の政策に対する運動課題の学習や要請行動  
に取り組んできました。今年37年になります。  
国会では自衛隊派兵や桜を見る会等の問題で安  
倍首相が答弁に行き詰まっています。今日は集  
中審議です。全世代型社会保障でも安倍首相は  
それを実施することで国民に幸せをもたらすか  
のごとくの言い方をしています。今日はしっか  
り学習し、その狙いを見抜いてしっかり怒りの

対応することが重要です。そして国会議員に声  
を伝えることが必要です。なんとしても2割化は  
ゆるさないのは後期高齢者の悲痛な叫びだと伝  
えていきましょう。

### 〈来賓挨拶〉

**社会保障の改善、国民生活改善に向けさらなる大きな  
闘いが必要 全国保険医団体連合会住江会長**

安倍政権は相変わらずの改憲策動。そして国  
会審議なしの閣議決定による中東への自衛隊派  
兵。憲法違反そのものです。そして三年越しの  
森加計問題、そして桜問題。国民を愚弄する政  
治姿勢。テラ銭という博打のあがり政治をし  
ようとするカジノ推進論者こそカジノ依存症と  
いわざるを得ない政治。昨年10月消費税アップ

されたため経済指標はすべて悪化しています。こんな中、社会保障や医療の改悪はしっかりと書き込むというのが安倍政権の今回の施政方針演説です。横暴を食い止め国民の困難や不幸を是正させるためには、安倍政権にストップをかける運動と闘いがまさに重要です。社会保障の改善、国民生活改善に向けさらなる大きな闘いが必要です。

《学習講演要旨》

「後期高齢者医療制度問題点と改善点、そして闘いの進め方」



公益財団法人日本医療総合研究所  
研究研修員 寺尾正之さん

### 後期高齢者医療制度の7つの問題点

①制度に個人単位制が持ちまれ、新たな保険料負担が発生する制度である②年齢によって加入する制度を区分する仕組みは国民を対象とする公的医療保険制度を持つ国では存在しないこと③個人差・性差・地域差などは考慮されずに、一律に年齢で区切ることに無理があり、科学的根拠に乏しい④医療費が高齢化の進展に伴い、今後ますます増大するので、後期高齢者医療を制限することを狙い「疾病の自己責任」と「応益負担」を制度の根幹に据えたこと⑤健康の保持増進が努力破綻となった⑥高齢者の医療費抑制のために新設された診療報酬制度がある⑦年金受給が年額18万円未満の人は保険料を窓口納付することになっていること。

### 制度の改善点

高齢者に際限ない保険料値上げを押しつけ、「負担増を我慢するか、医療を受けるのを制限するか」をせまるという制度の害悪が本格化しようとしている(2) 高齢者の健康状態・疾病の特性を無視した「負担の公平」論があること①窓口負担が2割になれば、負担額の差は拡大し、逆に不公平になる②年金で①制度に個人単位制が持ちまれ、新たな保険料負担が発生する制度である②年齢によって加入する制度を区分する仕組みは国民を対象とする公的医療保険制度を持つ国では存在しないこと③個人差・性差・地域差などは考慮されずに、一律に年齢で区切ることに無理があり、科学的根拠に乏しい④医療費が高齢化の進展に伴い、今後ますます増大するので、後期高齢者医療を制限することを狙い「疾病の自己責任」と「応益負担」

を制度の根幹に据えたこと⑤健康の保持増進が努力破綻となった⑥高齢者の医療費抑制のために新設された診療報酬制度がある⑦年金受給が年額18万円未満の人は保険料を窓口納付することになっていること。は暮らせない、働かないと暮らせない。高齢世帯の貧困化がすすんでいる③受診抑制・中断がすすむ。④高齢者の「予防・健康づくりの一体的実施」の取り組みに逆行する。⑤高齢者にとって医療と介護は一体一親を支える現役世代の生活も危うくする。

### 制度改善の進め方

①制度の公費負担の割合を現在の47%から引き上げる②「基金」を活用した保険料引き下げの要求は、引き続き重要な課題③所得に応じた公平な保険料とする④制度運営が住民から離れた都道府県広域連合になったことで、住民の要求・運動の矛先が定まりにくい問題がある。広域連合議員がいる自治体だけでなく、すべての市町村議会、県議会で議論を巻き起こし、意見を挙げていく⑤75歳以上の高齢者の医療費が、別会計という要の部分が変わらなければならない⑥老人福祉法の目的・基本的理念を活かす高齢者医療制度へと運動をすすめることが提起されました。最後に安倍政権がすすめる「全世代型社会保障改革」の視点について報告され、闘い方として、「全世代型社会保障」への転換に対して「理念で負けない」「財源論で負けない」・自らの実情、地域の実態を正確に把握する(事実の重み)・言葉を尽くしてそれを伝える(伝える力)・分断されずに、関心を持ち、連携する(署名の力)が重要であると提起されました。

《議員挨拶》 新しい政治をつくります

日本共産党衆議院議員 田村貴昭さん

増税とともにやってきたのが福祉の改悪だけでなく全世代型社会保障の大改悪です、とりわけひどいのが75歳以上の方の窓口2割化負担があります。今日は会場いっぱいになんかたくさんの方がご参加になっておられます。この声をどうか国会開会中です、国会議員に届けてください。各部屋を訪ねてください。会おうとしない議員がいたら大きな声で「会ってください」と言ってください。ぜひみなさんこの署名を国会に提出ください。国民の税金をまともに使う政治に切り替えてゆかなければなりません。全力でがんばっています。次の総選挙で与野党逆転、野党が政府をつくり消費税増税を減税させ

る。トランプいいなりの軍事費拡大を見直して税の普遍化を変えると公約しています。新しい政治をつくることをめざし闘う決意です。

《行動提起》 一点共闘を地域でつくり9月末までに80万筆達成しよう!

#### 日本高齢期運動連絡会武市事務局長

最初に署名項目が変更されたことが報告されました。項目としては一点。75歳以上の医療費窓口2割化反対のみ。行動提起としては①あらゆるつながりを生かして地域で一点共闘体制を確立すること②学習会を地域に旺盛に計画すること③都道府県、区市町村2月議会、2月に開催される広域連合議会に制度の現状維持を求める請願行動を行うこと。請願署名の雛形が提起されました④署名目標は2020年9月末までに800万筆。署名提出集会は3/26 5/27とします。署名のペースは5月末までに50万筆とします。

続いて国会議員要請行動について提案説明され、要請行動を行いました。要請内容は「75歳以上医療費窓口負担2割化に反対する請願署名」に対する賛同、並びに署名提出の紹介議員になってくれるよう協力を要請することです。対象は衆参両議の厚生労働委員会委員70名と東京、千葉、神奈川、埼玉の選挙区、比例選出議員145名。2019年参議院選挙での野党統一議員9名合計224名です。

**報告集会** 224名の議員を訪問

5名から紹会議員承諾の返事 (1/31現在)

議員要請行動のまとめが報告されました。要請結果として3名の議員と直接面談できました。そして紹介議員には5名がなってくれることになりました。阿部知子、羽田雄一郎、山添拓、倉林明子、下条みつ各議員です。

《発言》

**埼玉:** 病院にチラシを置いてもらい署名をお願いし400筆  
松田和代さん

埼玉はオール埼玉で闘っています。今年5月31日に集会を予定しています。その場で宣伝署名をと考えています。自分は病院の看護師さんやお医者さんに頼んでチラシをおいてもらっています。ある病院では400筆集まりました。今後も続けてゆきます。

**神奈川:** 10万筆を目標に取り組む 根本さん(社保協事務局長)

今日提出した1500を含めてほぼ8万筆をこの間署名で提出しています。公団自治協の団地で6000

筆集めてくださいました。川崎の老人クラブ連合会では単位の老人クラブに地域社保協が要請した結果約4000筆集めていただきました。川崎の事例を全県的に広げようと考えています。2月中に実行委員会を立ち上げます。



4月16日に保険医協会の住江会長に来ていただいてスタート集会を行います。秋までに10万筆を目指します。安倍首相がやることは所得で2割化をすすめることの形にするので高齢者のところに分断を持ち込むということになります。そこについてしっかりと学習していかないといけないのではないかと考えています。税金や保険料について応分負担原則は正しいですが、医療費の受診や介護の利用に対して応能負担でやるんだと言っています。能力のある方は払えというわけです。そこもきちっと考え方を確立していく闘いが必要です。全世代型の社会保障の対抗軸の突破口としてこの闘いを位置づけてがんばってゆきたいと思っています。

**東京:** 学習が力になった 年金者組合杉山さん

東京からは80名ほど参加しました。今日の行動はスムーズに行えました。午前中の学習が非常に良かったと思います。国会が始まって傍聴しているんですが野党の力が発揮されています。今後年金者の活動にも生かして尚且、早い内に安倍さんにも退陣していただいて野党連合政権をつくりたい。

**千葉:** 冷たかった自民党議員の対応 安部さん

千葉は12人参加。議員要請行動では誰とも会うことはできませんでしたが対応は丁寧な感じを受けました。自民党の議員の部屋に行くと「ポストに入れてくれ、ベルも鳴らすな」という議員もいました。今後千葉でもこの署名活動がんばって取り組みたいと思います。

**千葉:** 早速議会陳情を行います 樋口さん

松戸から3名来ました。要請行動は、4名とも秘書対応でした。丁寧な対応でした。松戸では昨年の9月議会に陳情書を出しましたが委員会では3対7で否決されました。今年は各野党に話して同時に与党にも話して陳情が可決されるようにしたいと考えています。

**調布支部:** 大きい声で要請しました 鶴澤さん

公明党のところではポストに入れてくれということでしたが、大きい声で言うと開けてくれ

ました。こちらのいいたいことはどんどん言いました。全部話を聞いてくれて受け取ってくれてわかりましたということでした。安倍政権ひとつも信用することはありません。信用しないでこちらの言い分正論なので言ったほうが良いと思いました。

**調布支部:** 老人クラブに申し入れを行います田島さん  
今週の日曜版に調布の老人クラブの会長さん

## 第34回日本高齢者大会in長野 記念講演は 寺沢秀文氏＝満蒙開拓平和祈念館館長に決定

第34回日本高齢者大会in長野 中央実行委員会・長野実行委員会

長野大会第一日目の全体会(ホクト文化センター大ホール)の記念講演は、長野県下伊那郡にある満蒙開拓平和祈念館館長の寺沢秀文氏に決まりました。

### 1/21第3回現地実行委員会報告(抜粋)

出席: 17団体24人

○サブスローガンの決定

【長野大会開催の意義】

①安倍政権がすすめる「戦争する国づくり・9条改憲」をストップさせる大会

②安倍政権がすすめる、高齢者の人権、生活を破壊する「全世代型社会保障」、「75歳以上の医療費窓口負担2割化」にNO!を突きつける大会

③バージョンアップされた日本高齢者憲章素案をみんなで議論する大会(素案は3月ぐらい)

④第二次世界大戦から75年!高齢者として、戦争体験と歴史を後世に伝え、二度と「戦争をしない」ことを誓う大会

【サブスローガン】

<事務局案> みんなの知恵と努力と共同で くらし・環境・憲法を守り 平和で災害に負けない希望のふるさとを!

<中央実行委員会代表委員・事務局長次長会議案>  
戦後75年!くらし・環境・憲法を守り 平和で災害に強い希望のふるさとを みんなの知恵と努力と共同で!

【長野大会サブスローガン】

「戦後75年! いのちとくらし・環境・憲法を守り 平和で災害に強い希望のふるさとを みんなの知恵と努力と共同で!」

○記念講演講師案(1時間)の決定

★実行委員会案(①中野晃一氏 ②寺沢秀

が出ています。びっくりしました。昨年の11月この会長さんが住んでいる深大寺に健康チェックに行った時に高齢者の署名を頼んだところ署名がたくさん集まりました。今後老人クラブにも申し入れを行うようにしてゆきたい。

最後に集会アピールが提案され拍手で確認。菅谷次長の挨拶で終了しました。

文氏)で講師にあたることに決定した。

○実行委員会参加依頼団体・41~44の団体は今後あたっていく

○会場・開催時間

①参加規模 1日2500人目標として、4000人を超過するように取り組む

②日時・会場 2020年9月25日(金)

全体会 13:00~16:30(案) ホクト文化ホール大ホール 1971人定員

小ホール(中継・映像放映) 300人定員

夜の企画 17:30~19:00(案)

①ホクト文化ホール小ホール

②長野市生涯学習センター大学学習室1

③④⑤⑥ ホテル信濃路

2020年9月26日(土)

学習講座・分科会 9:00~12:00信州大学工学部

移動分科会 9:00~12:00

○県内組織(具体化は組織部)

中央の提案は500人以上、何人にするか

○学習講座・分科会

<今まで出された意見など>

・長野らしい移動分科会を

・戦前の無産者診療所、地域医療、食健連など

・地球環境の問題、今回のような災害の問題(人災)等も検討できれば

・JAとのつながりで何かできるとよい・何も決めず話したい事を話す場もほしい

・障害者も見込んだ学習会、幅広い連携

・建交労中央より「高齢者の就労と生きがい」の分科会を今年も受けていく方向だといわれている。

他県から要員に来てもらってもよいか  
⇒ OKです。

○宿泊手配等について

・特に決まった旅行会社がない場合はご相談ください。  
勤労者レクリエーション協会  
電話:03-3984-0401 Fax:03-3984-0407

株式会社 トラベル本舗  
〒390-0841松本市渚1丁目2-23  
TEL:0263(29)2729 FAX:0263(27)8110

## ひとりぼっちの高齢者をなくす取り組みを前進させようと、500人が参加!! 11.26第14回「輝け高齢期かながわin港北」 神奈川県高齢期運動連絡会

参加者からは「大変良かった!」「高齢期のみなさんが生き生きと輝いていた!」「若い世代も元気をもらった!」など多くの感想が寄せられました。

### 笑いと感動に包まれたつどい

▼O・K・Iジャズバンド



オープニングは、地元の年金者組合港北支部のO・K・Iジャズバンドによる演奏で始まり、梅村忠三実行委員長が、県内各地からの参加者を「歓迎」し、消費税増税、後期高齢者の医療費窓口負担増と介護保険の改悪、林横浜市長の企む「カジノ誘致」反対などの運動に全力をあげて取り組み、安倍政権の民主主義と憲法破壊の政治をやめさせようと開会あいさつしました。

### 港北区長代理・議員が激励連帯あいさつ

港北区長代理で参加した高齢障害支援課の中村課長から、「高齢者が地域の中で活躍することが今後益々重要視されている」「地域の中で孤立しないよう繋がりを広げましょう」「みなさんの活動に期待します」とあいさつをうけました。また、来賓として立憲民主党の中谷一馬衆議院議員、日本共産党の大山奈々子県会議員があいさつし参加者を激励しました。

記念講演は、NPO法人医療制度研究会副理事長の本田宏先生が「医療・福祉が切り捨てられていく“憲法が生きる国への処方せん”」のテーマで、パワーポイントを駆使しながらオヤジギャグの連発で参加者に分かりやすく話しました。

相楽育雄実行委員会事務局長が基調報告をおこない、地域で、ひとりぼっちの高齢者をなく

す取り組みを前進させ、「安倍9条改憲NO!」「全世代型社会保障改革NO!」の声を上げようと呼びかけました。

リレートークでは、①港北社保協再建からの1年（港北社保協）、②社会保障と年金者組合の仲間づくり（年金者組合緑支部）、③横浜市のこども医療費、「中学校卒業」までの運動の成果（新婦人）、④土建シニアの会員の年金の実態と「仲間を孤立させない」交流（土建横浜支部シニアの会）、⑤居場所・たまり場での「つながり」づくりの取り組み（よこはま健康友の会梶山支部）、⑥横浜市の「敬老パス」改悪反対について（横浜市従退職者の会）など、6分野の方が発言。また、カジノ誘致反対横浜連絡会の菅野事務局長が「カジノ誘致反対」の大運動の必要性について特別報告しました。

午後は、恒例の文化行事に各団体のサークルから、ウエスタン演奏とコーラス、日本舞踊、リ・メイクサロンファッションショー、オカリナの演奏、フラダンス、ハーモニカ演奏、健康体操などが披露されました。

▼年金問題の学習会



「つどい」では、初めて文化行事と並行して「年金問題の学習・討論」が60人の参加で行われ、年金改悪を許さない運動について活発に交流しました。

第14回「輝け高齢期かながわのつどいin港北」のアピールを年金者組合港北支部の孤丸立子さんが提案し、最後に高齢期運動連絡会の大河原貞人事務局長が閉会あいさつを行いました。

（「輝け高齢期」第271号より抜粋）

# 学び、歌い、体を動かし、楽しく集う 「2019年度広島県高齢者大会」に110人

広島県高齢期運動連絡会

11月28日、2019年度広島県高齢者大会が開催され、110名が参加しました。塚田会長のあいさつに続き、全体会のメイン、広島医療生協理事長の坂本裕さんの「どうなる？私たちの年金」の記念講演がありました。坂本さんは世界的に見ても低い水準にある年金をさらに改悪するマクロ経済スライドなどの仕組みや、政府の財源不足などの偽りの宣伝を批判し、最低保障年金の実現のために真実を広めることが重要と話しました。坂本さん得意のパワーポイントのアニメーションを駆使しての話は、むずかしいと言われる年金問題を理解するのに大いに役立ちました。



講演後、広島市の高齢者公共交通機関助成利用事業廃止の方針が発表されたことから、廃止撤回、拡充を求める特別決議を満場一致で確認し、広島市議会へ陳情を行うことを確認しました。後半の分科会はうたごえ、笑いヨガ、「医療と介護の今後」の学習講座で楽しく交流しました。

(広島高齢期運動連絡会ニュースNo.5より)

## 社会保障大改悪許さない 高齢者大会 運動強化誓う 11.16 「第30回山口県高齢者大会」に150人 山口県高齢者運動連絡会

30回目の節目を迎えた山口県高齢者大会が山口市内で開かれ、安倍内閣の社会保障大改悪を許さず、減らない年金や医療・介護、生活保護など憲法25条の生存権を守る運動を草の根から起こそうと決めました。



**消費税増税に依存しない社会保障充実の道はある**

30回大会では、下関市立大学の関野秀明教授が「消費税増税に依存しない社会保障充実策」をテーマに、憲法25条・生存権を守り活かす展望を示し、大きな確信を与えました。

**マクロ経済スライドをやめ、積立金活用、財政投入で「減らない年金」を**

関野さんは、国民の批判をさけるため、参院選後に公表した安倍政権の年金の財政見通しの問題点を分かりやすく説明。現役世代に比べた年金受給世代の比率が高くなれば、それに応じて年金額を減らすという「マクロ経済スライド」

をやめ、厚生年金は2百2兆円の超過大な積立金を適切に取り崩すこと、国民年金は積立金の取り崩しに加えて年4千億円の財政投入で「減らない年金」が実現できると話しました。

**社会保障は消費税依存でなく、大金持ち・大企業優遇税制の是正で抜本拡充を**

関野さんはヨーロッパの高福祉は高い消費税で支えられているとのゴマカシの議論を丁寧に解きほぐしました。

その上で関野さんは、消費税が現実には社会保障に十分使われていない実態を批判していくとともに、大金持ち・大企業優遇税制を是正すれば17兆円規模の財源を生み出すことができ、国保料引き下げや高学費の抜本改善、最低賃金引き上げなど豊かな社会保障の展望が開けるとのべ、そのためにもムダな兵器の爆買いや大企業優遇の政治から福祉・暮らし第一の流れに変えていこうと呼びかけました。

**イージス・アショアつくらせないとの報告も**

大会では阿武町の米津高明さんが、町民や町長が一体となって街づくりを続けているふるさとに、危険なイージス・アショアは要らないと報告し、共感を広げました。(「山口民報」より抜粋)

## 多様な学びと交流

### 12.2 「第25回埼玉県高齢者大会」 420人参加 埼玉高齢期運動連絡会

オープニングは、年金者組合の役員のみなさんによる元気いっぱいの「長生きサンバ」。続いて、実行委員会を代表して年金者組合埼玉県本部・執行委員長の宇佐美忠利さんがあいさつと基調報告を行いました。来賓として、埼玉労働連・議長の伊藤稔さんと埼玉社保協・事務局長の川嶋芳男さんに連帯の言葉をいただきました。  
記念講演 前川さんと考える日本の教育

～すべての子どもの学習  
権保障へ、地域で じいじ  
ばあば ができることは何か？～

冒頭、前川さんは、テーマである「すべての子どもの学習権保障」は、いまの教育に大事なタイトルと述べました。「すべての人に人権があって尊厳を持ち、その一人ひとりで国ができており、国が先ではない。そのために学ぶことが必要、人間らしくするには学ばなければならない。だから、すべての人に学ぶ権利が保障されなければならない」と強調しました。

「じいじ ばあばの地域での役割」については、「ソーシャルキャピタル」と呼ぶ子どもたちを取り巻く人間関係を豊かにすること、親や教師以外で「斜めの関係」で関わる人がたくさんいることが大事と提起しました。学習支援の取り組みへの応援が呼びかけられました。とりわけ、子どもたちの人間関係の貧困に対して、行政や学校や親のタテ関係だけでなく、「地域で斜めの人間関係を」という呼びかけに応えていこうという学びになった記念講演でした。

<分科会①> 講座「高齢期を穏やかに過ごす“物と心の整理術”」

昨年も講師をお願いして大好評だった企画で、今回も120人以上が参加しました。石見さんは「整理・整頓・片づけの違い」や一生分の物の量が3トンにのぼることを紹介し、せめて1.5トンにするための具体的な整理のポイントを話されました。

<分科会②> 講座「まちづくりと交通アクセス」



講師 渡辺繁博さん(埼玉県自治体問題研究所事務局長)

約60人が参加。渡辺さんは、「みんなの知恵で便利な地域交通を～暮らしと健康を支えるコミュニティバス」について話され、「地域交通の現状と問題点」、「公共交通の意義と自治体の責務」、「公共交通の整備にどう取り組むか」などが紹介されました。

<分科会③> 講座「埼玉県内の基地の変化と日米地位協定問題」

約60人が参加。二橋さんは、安倍政権のもとで戦争する国づくりが、法的・物的・人的な基盤整理として進み、その諸悪の根源に日米地位協定がある」ことを明らかにしました。

<分科会④>

体験企画「笑いヨガで健康に！」



講師 磯崎悦子さん

約20人が参加しました。磯崎さんは、笑いヨガの基本を説明しながら、車座にイスを配置して参加者みんなでの体験・交流を進めました。

(埼玉県高齢者大会サイコー!NEWSニュースより抜粋)

# 「誰一人取り残さない社会～高齢者憲章を、くらしに生かす」 1. 18 「第28回愛媛高齢者大会」に176人

## 高齢期運動愛媛県連絡会

1月18日、第28回愛媛高齢者大会を同実行委員会の主催で、伊予市の「ウェルピア伊予」で開催し、176人が参加しました。県高運連の倉田均代表委員が開会挨拶で「安倍内閣は、今年の全世代型社会保障検討会議の中間報告では、高齢者の就業促進で保険料の負担者を増やし年金支給開始年齢の引き上げも検討している。医療は75歳以上の窓口負担2割化、介護保険も要介護1,2の生活援助外しなどを狙っている。誰一人残さない仕組みを地域でしっかりつくり上げよう」と開会挨拶しました。

日本高齢期運動サポートセンターの井上英夫理事長が「「国連高齢者人権条約と日本高齢者憲章」と題して記念講演をおこないました。井上理事長は、「介護殺人」があるのは世界で日本だけだと紹介し、第二次世界大戦後の人権保障の発展と日本国憲法の関係を9条、12条、13条、14条、25条、などの条文をあげて日本国憲法を掲げて運動することが大切なことを説明。あわせて国連高齢化に関する会議での日本代表団の「国連高齢者人権条約」の制定のための運動を紹介し、1988年、第2回日本高齢者大会で採択された高齢者憲章のバージョンアップの作業に入っていることを報告。「高齢者憲章の現代版をつくり憲章を掲げて日本政府を追い詰めよう」と呼びかけました。

講演のあと「私たちの生活」4つの生活実態の報告として①年金生活の現状②介護生活の現状③生活保護世帯の現状④交通困難に直面する生

活の現状について4氏が報告。意見交換しました。

このあと「愛媛における高齢期運動の到達点と当面の課題」と題して県高運連の鈴木金作会長が報告。1987年、第1回県高齢者大会を開催して以来の経過を報告したあと、これからの運動として(1)愛媛県高齢者大会を地域持ち回りの大会を9年間かけて一回りしてきた成果を活かし、今後バージョンアップした運動に取り組む(2)当面の取り組みとして、第2回日本高齢者で採択された「日本高齢者憲章」をバージョンアップする運動に参加し、新たな高齢者憲章を地域に生かす運動に取り組む(3)全国の高齢期運動に対応し、持続的な愛媛における高齢期運動を強化するために①役員会と事務局体制の強化を計る②9年間の地域開催の成果を生かし、地域住民の要求運動に取り組む③今年の高齢者大会『新居浜市開催』日本高齢者大会『長野県開催』を成功させるために取り組む④高齢期運動の巾を広げる課題として、住民要求をもとに自治体交渉をすすめる、自治体との協力共同、諸団体との共同に取り組む⑤高齢期運動の位置づけとして、高齢者が主体となる運動、すべての世代の課題としての高齢期運動、個々の高齢者が抱えている問題を解決する運動を広げていこうと呼びかけました。報告のあと、意見交換し、鈴木会長が開会挨拶。大会の内容を地域の高齢期運動連絡会で報告し、直ちに運動に取り組もうと訴えました。

高齢期運動愛媛県連絡会 鈴木金作

社会保障全国アクション

4・13ヒューマンチェーン(国会包囲行動)に参加しましょう

主催「憲法25条を守り活かそう」共同行動実行委員会

◇2020年4月13日(月)11時～15時終了予定 11時～12時 国会議員要請行動(300人規模)

全国国会議員への要請をめざす

13時～15時 国会包囲行動(5000人規模)

日本高齢期運動連絡会第28期総会 第34回日本高齢者大会in長野 第2回中央実行委員会のお知らせ

◇日時:2020年5月16日(土)10時半～午後4時半(予定)

◇場所:新日本婦人の会中央本部(東京都文京区小石川5-10-20 小石川Mビル)

地下鉄丸ノ内線「茗荷谷」駅下車徒歩7分

※「茗荷谷」は東京駅より6つ目 12分

後日、お知らせをお送りいたします